

押出成形板タイル張り施工

タイル張りの設計と施工 ② 鉄骨建築物外壁への施工

② 鉄骨建築物外壁への施工

① ALCパネル(100mm厚以上)へのタイル仕上げ

ALCパネルへのタイル張りは、はるかべ工法とモルタル施工が適用できます。ALCパネルは100mm厚以上とし、縦壁ロック構造、横壁アンカー構造とします。それぞれのポイントを以下に示します。

(1) はるかべ工法

・タイルは接着剤張り用タイルをご使用ください。ラグナロックは、使用できません。

・タイルはパネル目地をまたがらないように割り付けます。

・ALCパネル間の目地および基礎部・建具との取合い部は、タイル表面に伸縮調整目地を設置します。

・ALCパネル表面は、全面にわたり吸水調整材を塗布後に下地調整塗材を塗り付けます。下地調整塗材は、JIS A 6916(建築用下地調整塗材)のC-2を使用します。下地調整を兼ねる場合はCM-2を使用することも可能です。

・接着剤は「ワンバックボーイR-V2」または、「ワンバックボーイR-V2ライト(適用タイルについては各商品ページ参照)」を使用します。

(2) モルタル施工

・タイルは、200×60mm角または100mm角以下、厚さ10mm以下のものをご選定ください。

・タイルはパネル目地をまたがらないように割り付けます。

・ALCパネル間の目地および基礎部・建具との取合い部は、タイル表面に伸縮調整目地を設置します。

・ALCパネルへの下地処理として、吸水調整材の塗布またはポリマーセメントモルタルのしごき塗りを行います。

・張付け材料はポリマーセメントモルタルを使用します。

※詳細はALCパネルへの外装タイル張り設計・施工マニュアル(タ-KG8-8)をご参照ください。(ビジネスユーザー向け情報サイト「いいナビ」からもご覧いただけます)

※寒冷地への使用については、ALCメーカーにお問い合わせください。



② 薄型ALCパネル(50mm厚)へのタイル仕上げ

薄型ALCパネルへのタイル仕上げは、はるかべ工法が適用できます。薄型ALCパネルは50mm厚とし、横張りされたパネルとします。

・タイルは、接着剤張り用タイル(目地詰めなし)、ラグナロックが使用できます。

・外装壁モザイクタイル[接着剤張り工法用]は使用できません。

・接着剤はワンバックボーイR-V2を使用します。

※詳細は、はるかべ工法 住宅編 設計・施工マニュアル(タ-MD138-14)をご参照ください。(ビジネスユーザー向け情報サイト「いいナビ」からもご覧いただけます)

③ 押出成形セメント板へのタイル仕上げ

押出成形セメント板へのタイル張りは、はるかべ工法とモルタル施工が適用できます。それぞれのポイントを以下に示します。

(1) はるかべ工法

・タイルは接着剤張り用タイルをご使用ください。

・押出成形セメント板は、60mm厚以上のフラットパネルを使用します。

・タイルは、押出成形セメント板1枚ごとに割り付け、パネル目地はすべて伸縮調整目地とします。

・接着剤は「ワンバックボーイR-V2」または、「ワンバックボーイR-V2ライト(適用タイルについては各商品ページ参照)」を使用します。

(2) モルタル施工

・タイルは、300mm角以下、厚さ20mm以下のものをご選定ください。

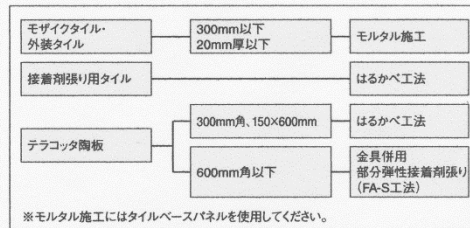
・押出成形セメント板は、60mm厚以上で、表面にあり溝を設けたタイルベースパネルを使用します。

・タイルは、押出成形セメント板1枚ごとに割り付け、パネル目地はすべて伸縮調整目地とします。

・モルタルでの不陸調整はできませんので、押出成形セメント板は精度良く建て込んでください。

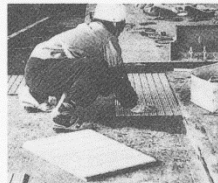
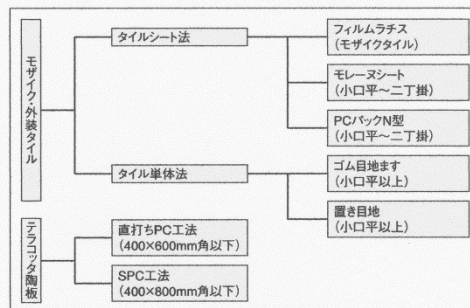
・張付け材料はポリマーセメントモルタルを使用します。

※詳細は押出成形セメント板へのタイル張り設計・施工マニュアル(タ-EG111-7)をご参照ください。(ビジネスユーザー向け情報サイト「いいナビ」からもご覧いただけます)

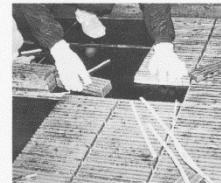


④ タイル先付けPCaパネル

鉄骨造高層建築物の外壁にタイルを用いる場合には、タイル先付けPCaパネルが適しています。タイルを先付けさせる方法は、タイルの大きさ等により以下のように分類されます。



PCa板先付け工法(フィルムラチス)



PCa板先付け工法(置き目地)